

市民が主役となった近代化遺産の活用に向けて

全国フォーラムが生野で開催

近代化遺産の保存と活用を考える全国フォーラムが、去る7月6日に生野メインホールで開催されました。

フォーラムには、全国から集まった研究者や自治体担当者などのほか、地元朝来市や兵庫県内などからの参加があり、延べ500名を超える満席の参加者となりました。

まず文化庁と国土交通省によって、登録文化財や産業観光などの政策動向について報告されたあと、足立裕司神戸大学工学部教授から「生野鉱山と日本の鉱山遺構の保存と活用に向けて」と題した記念講演が行われ、生野中学校三年生も地域の歴史を学ぶ総合学習として聴講し、熱心に耳を傾けていました。



全国フォーラム 生野メインホールにて

補助金に頼らない市民自らのまちづくりを提言

フォーラムでは、全国の先進地から集まったパネリストによる「近代化遺産の活用と市民が主役のまちづくり」と題したディスカッションが展開されました。

群馬県桐生市では、明治期の蔵有鄰館を多目的スペースとして再生・活用したまちづくりが進められており、岡部信一郎氏からは「まちづくり組織の事務局を市民自らが担うことが大事だ」「補助金に頼らないで活動すればするほど、市民にノウハウがついてく



見学会 生野鉱山旧混こう所（明治8年）

る」と提言がありました。

フォーラムの最後には、井上市長によって「近代化遺産を将来にわたって守り続け、まちづくりに積極的に活かしていきます。」というメッセージが宣言され、会場からの溢れんばかりの拍手で採択されました。

朝来市民が七夕飾りでもてなし

フォーラムや見学会の開催期間中、口銀谷地域では「銀谷の七夕祭り」が開催され、150本もの大きな七夕飾りが民家の軒先を飾り、周辺の路地は地域住民によってきれいに清掃され



市民によって飾られた七夕飾り

るなど、全国から訪れたお客様を一杯の真心でもてなしました。

市民が主役になった手づくりのフォーラムに、全国から訪れた参加者からは「今回朝来市で開催されたフォーラムは、地元の努力によって非常に大きな成果をあげ、今後の近代化遺産の保存・活用に向けた大きな一歩となるだろう」と高い評価を得ました。

このフォーラムによって、磨けば再び輝きを取り戻す資源が朝来市に満ち溢れていることを、多くの人が確信したことでしよう。

●問い合わせ
朝来市教育委員会
社会教育課
TEL 677 - 2116